

地衣類とは？

地衣類とは、2種類の異なる生物で構成された特異な生命体です。1つは菌類で、もう1つが藻類です。この共生関係により、あらゆる環境の表面で生存することができます。保護区内を歩いていると、岩や木、落ちた枝にも地衣類が生えているのに気づくはずです。湿った日陰だけでなく、太陽を浴びる場所でも自生します。

地衣類は地球上で最も古い植物の一つです。時間の経過とともに、地衣類は岩石を分解して、表土を形成することもあります。極寒の北極から酷暑の砂漠さまで、過酷な条件に耐えることができます。

ロックフェ ラー州立公園 保護区の 地衣類



Rockefeller State Park Preserve
125 Phelps Way
Pleasantville, NY 10570

葉状地衣類成長形態



キウメノキゴケ :

Flavoparmelia caperata

保護区で最も多く見られる形態の地衣類です。さまざまな樹木の樹皮に生息し、日光の下でも、半日陰でも生存します。



トゲハクテングケ :

Punctelia rudecta

樹皮や陽の当たらない岩などに生えます。葉の部分は緑がかった灰色で、下面は褐色です。

葉状地衣類：葉のような形状をしています。

固着地衣類：表面に色が染み付き、落とせません。

好ましい条件下では葉状地衣類は1年で5mm程度成長します。汚染によって地衣類が完全に失われた場合、一番初めに再生する形態の地衣類です。地衣類が自生しているということは、一般的に環境が健全だという証拠です。

地衣類には窒素固定させる作用があり、多くの生態系の生物多様性を支えています。ダニやシロアリ、クサカゲロウなどの無脊椎動物を保護する避難所の役割も果たしています。モグラ、レミングス、ラクダ、ラマなどの脊椎動物は、地衣類を主要なミネラル源として食べます。ハチドリは巣を作る時、カモフラージュとして地衣類を使い、ムシクイは髭状地衣類を巣に編み込みます。

地衣類に関する詳細

地衣類に関する詳細を知りたい場合は：

Common Lichens of Northeastern North America (アメリカ北東部の地衣類)
by Troy Mullin & Frances Anderson

写真とパンフレット : Edie Martimucci 2020

固着地衣類成長形態



Zoned Dust Lichen :

Lepraria neglecta

日の当たらない花崗岩の表面に生えます。ブルーグレーの粒とぼんやりした表面がはっきりとしたリングを描きます。



Lepraria neglecta: Dust Lichen は、空気中に含まれる湿度から水分を補給します。湖の周辺でこの個体を発見しました。低地の岩場や公園内の日陰の湿った場所では、地衣類の存在に気付くはずでず。